SHO-BOND ひび割れ注入工法

ひび割れの表面に塗布するだけで内部に 浸透し、接着する塗布型ひび割れ注入工法



CAP method



▶工法概要

CAP工法は、コンクリート表面の微細なひび割れ 部に注入材を塗布することで、ひび割れの深部ま で浸透接着します。特別な注入器具を用いるこ となく、ひび割れ補修ができます。

▶特長

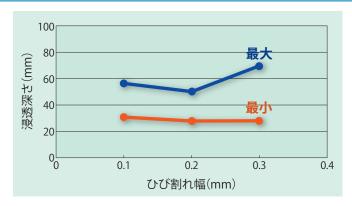
- ●注入器具を用いないで、幅0.3mm以下の微細なひび割れを補修できます。
- ②ひび割れ表面に注入材を塗布するだけで、毛細管現象によりひび割れ内部に浸透し、接着 一体化します。
- ③湿潤したひび割れ面の接着性にも優れています。
- ◆ひび割れ部からの劣化因子を遮断する効果があります。

ショーボンド САР工法 ひび割れ注入工法

ひび割れ浸透性能

供 試 体:ひび割れ部塗布5回(上向き浸透)

試験条件:曲げ試験(23℃)

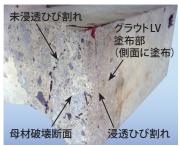


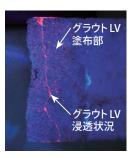
ひび割れ浸透後の状態(曲げ試験後)

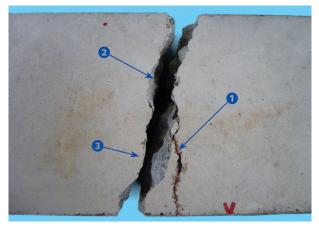
供 試 体: ひび割れ部塗布5回(横向き浸透)

ひび割れ幅/0.2mm

試験条件:曲げ試験(23℃)







施工法

- ●ひび割れ部にグラウトLVを、ローラー刷毛等を用い て塗布します。
- ②塗布したグラウトLVは、ひび割れに吸い込まれます。 吸い込みがなくなるまで、繰り返しグラウトLVを数 回塗布*します。この時、塗布部はひび割れ部周辺 のみとします。

*再塗布の回数は、ひび割れ下部にグラウトLVが溜 まった状態(床版下面の場合)になるまでとします。 ひび割れ内部の状態によりグラウトLVの吸い込み が違うため同一回数にはなりませんが、4~5回を目 安としてください(使用量は、200~300g/mが目安で

- ■曲げ試験・破壊後の供試体側面(下面にグラウトLVを塗布)
- ●接着効果によりひび割れ部は未破壊(注入材浸透部)
- ②ひび割れ部で破壊(注入材未浸透部)
- ❸ひび割れ部以外で破壊











★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

ショーボンドマテリアル 株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

■販売元

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)

●取扱店